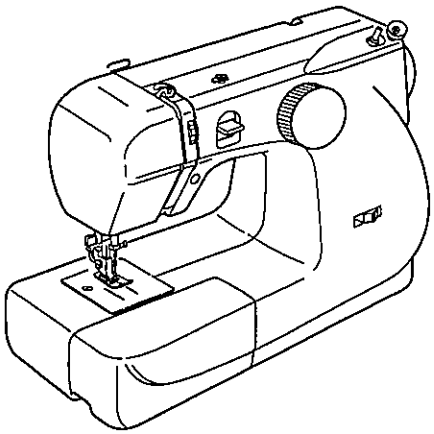
ご使用のしおり

《取扱説明書》



JANOME

安全上のご注意

◆ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
◆ここに示した注意事項は、ミシンを安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
◆お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。
◆このミシンは、日本国内向け家庭用です。 For use in japan only.

絵表示の例

	⚠記号は、警告・注意を促す内容があることを告げるものです。 図の中には具体的な注意内容（左図の場合は一般的な注意）が描かれています。
	⃠記号は、禁止の行為であることを告げるものです。 図の中には具体的な注意内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	❶記号は、行為を強制したり、指示したりする内容を告げるものです。 図の中には具体的な注意内容（左図の場合は一般的な強制）が描かれています。

⚠ 警告　感電・火災の恐れがあります。

一般家庭用　交流電源　100 Vでご使用ください。

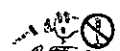
必ずプラグを持って抜く

以下のような時は、電源スイッチを切り電源プラグを引き抜いてください。
・ミシンのそばを離れるとき
・ミシンを使用したあと
・ミシン使用中に停電したとき

⚠ 注意　感電・火災・けがの原因となります。

分解禁止

お客様自身での分解はしないでください。



接触禁止

ミシンの操作中は、針から目を離さないようにし、針・はずみ車・天びんなどすべての動いている部分に手を近づけないでください。

禁　止

縫製中に布を無理に引っ張ったり、押したりしないでください。

禁　止

曲がった針はご使用にならないでください。

禁　止

電源コードは、このミシン以外の電気製品には使用しないでください。

必ず実行

針及び押さえは、確実に固定してください。又、押さえは、ぬいに合ったものをご使用ください。

必ず実行

ミシン操作時は、面板などのカバー類を閉じてください。

必ず実行

お子様がご使用になるときや、お子様の近くでご使用される時は、特に安全に注意してください。

必ず実行

以下のことをするときには、電源スイッチを切ってください。
・針・針板・押さえ・アタッチメントを交換するとき
・上糸・下糸をセットするとき
・ランプを交換するとき（ランプが冷えてから行ってください。）
・ミシンのお手入れを行うとき

必ず実行

ミシンに以下の異常があるときは、速やかに使用を停止し、お買い上げの販売店にて点検・修理・調整をお受けください。
・正常に作動しないとき
・水に濡れたとき
・落下などにより破損したとき
・異常な臭い・音がするとき
・電源コード・プラグ類が破損、劣化したとき

※仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

おとり扱いについてのお願い

◇ご使用の前に

①ほこりや油などで、ぬう布を汚さないように、使う前に乾いたやわらかい布でよく拭いてください。
②シンナー・ベンジン・ミガキ粉は絶対に使用しないでください。

◇いつまでもご愛用いただくために

①長時間日光に当てないでください。
②湿気やほこりの多いところは避けてください。
③落としたり、ぶつけるなど衝撃を与えないでください。

目　次

① 各部のなまえ 1
② 標準付属品 1
③ 電源のつなぎ方 2
④ スタート・ストップボタン 2
⑤ スピードの調節 2
⑥ 返しぬいレバー 2
⑦ 押さえ上げ 3
⑧ 押さえの交換 3
⑨ フリーアーム 3
⑩ 模様の選び方 3
⑪ ボビンケースの外し方とボビンの外し方 4
⑫ 下糸の準備 4
⑬ ボビンのセット 5
⑭ ボビンケースの取り付け方 5
⑮ 上糸の準備 5
⑯ 糸通しの使い方 6
⑰ 下糸の引きあげ方 6
⑱ 直線ぬい 7
⑲ 糸調子の調節 8
⑳ 下糸調子の調節 8
㉑ ジグザグぬい 9
㉒ ジグザグぬいたち目かがり 9
㉓ トリコットぬいたち目かがり 9
㉔ シェルタック 10
㉕ くけぬい（まつりぬい） 10
㉖ ボタンホール 11
㉗ 針の取り扱い 12
㉘ ミシンのお手入れ 13
㉙ ランプの交換 13
㉚ ミシンの調子が悪いときの直し方 14

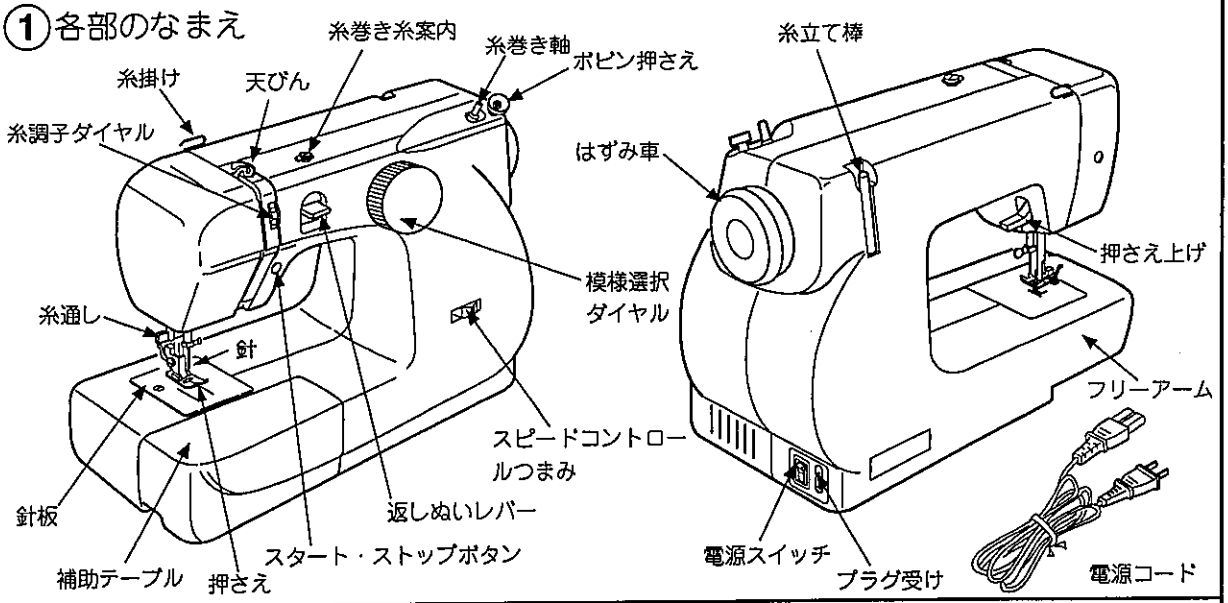
ここが便利になりました

◎ゆっくりスタート ..... ぬい始めは、いつもゆっくりで安心です。 ..... 目次 ④

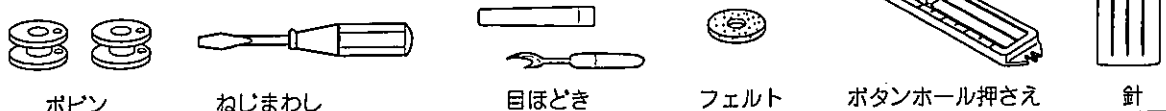
◎返しぬいスタート ..... 忙しかった返しぬいも、あわてる必要はありません。
返しぬいが終われば、自動的に止まります。 ..... 目次 ⑥

◎安全装置機能 ..... かまの糸がらみなどで、ミシンに負荷がかかったとき、
自動停止機能がついて安心です。 ..... 目次 ㉚

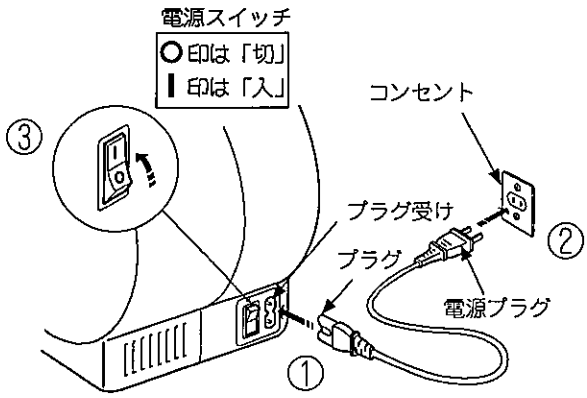
①各部のなまえ



②標準付属品　・・・・・　補助テーブルに収納されています。



③電源のつなぎ方



①電源スイッチを切ってから、プラグをプラグ受けに差し込みます。
②電源プラグをコンセントに差し込みます。
③電源スイッチを入れます。

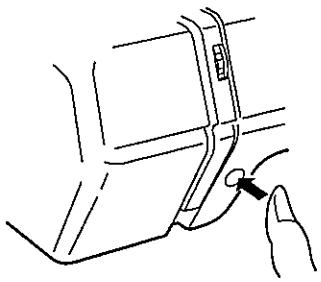
⚠警告

・電源は一般家庭用交流 100V でご使用ください。
・ミシンを使わないときは、電源プラグをコンセントから抜いておいてください。

感電・火災の原因になります。

※このミシンは、フットコントローラーの使用はできません。

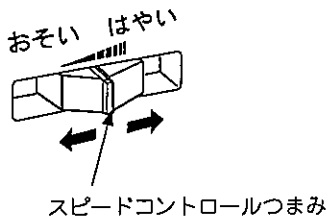
④スタート・ストップボタン



ボタンを押すと、ミシンは数針ゆっくりとぬってから、スピードコントロールつまみでセットした速さでぬい始めます。
もう一度押すと、針が上位置で止まります。

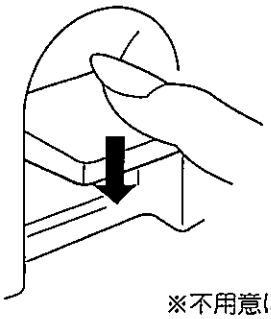
※ボタンを押しつづけると、ミシンは、ゆっくり動きます。

⑤スピードの調節



ぬう速さは、自由にセットできますので、スピードコントロールつまみを、お好みの速さにセットしてください。

⑥返しぬいレバー

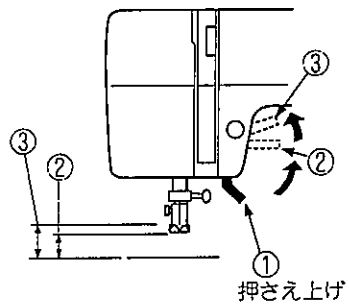


【停止中の返しぬい】
ミシンが動いていない状態で返しぬいレバーを押すと、低速で返しぬいを始め、指をはなすと止まります。

【運転中の返しぬい】
ミシンが動いている状態で返しぬいレバーを押すと、押しているあいだは返しぬいをし、指をはなすと止まります。

※不用意に返しぬいレバーにふれると、ミシンが動きだしますのでご注意ください。

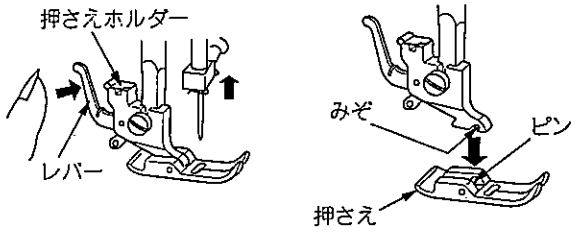
⑦ 押さえ上げ



押さえ上げで押さえのあげさげをします。

①さげた位置
（ぬいのときにはさげておきます。）
②普通にあげた位置
（布の取り出しや、押さえの交換のときにあげます。）
③さらにあげた位置
（補助リフトで、厚物の布が入れやすくなります。）

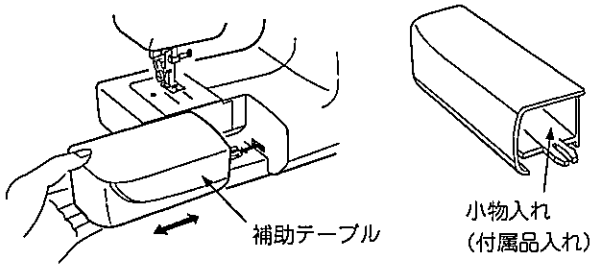
⑧ 押さえの交換



①針と押さえ上げをあげ、押さえホルダーのレバーを押して外します。

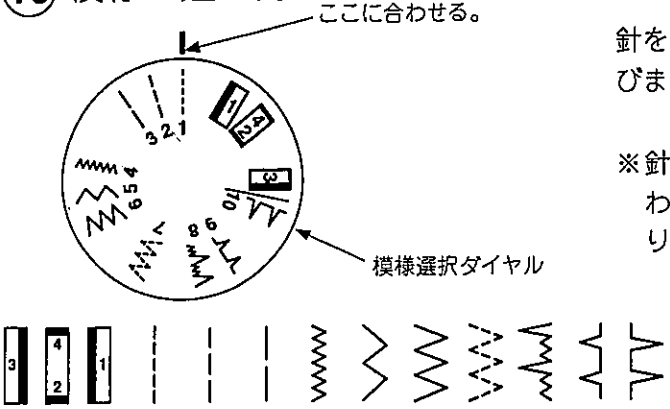
②押さえのピンを押さえホルダーのみぞの真下においてて、押さえ上げを静かにおろします。

⑨ フリーアーム



補助テーブルを横に引いて外すと、フリーアームになります。
補助テーブルは、小物入れとしても利用できます。

⑩ 模様の選び方

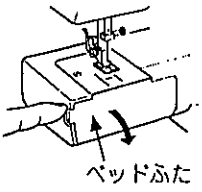


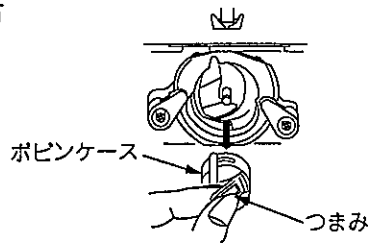
針をあげて模様選択ダイヤルをまわし、模様を選びます。

※針が布に刺さったままで模様選択ダイヤルをまわすと、針が曲がったり折れたりする原因になります。

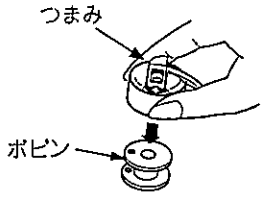
⑪ ボビンケースの外し方とボビンの外し方

★ボビンケースの外し方





★ボビンの外し方



①針と押さえ上げをあげ、ベッドふたを開きます。

②ボビンケースのつまみを持って取り出します。

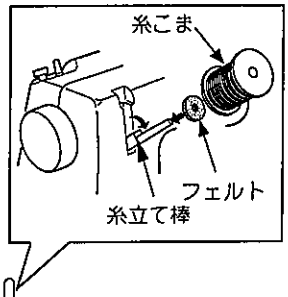
ボビンケースのつまみをはなして下に向けるとボビンが外れます。

⑫ 下糸の準備

★ボビンに糸を巻く

※スピードコントロールつまみは、「はやい」にセットしてください。

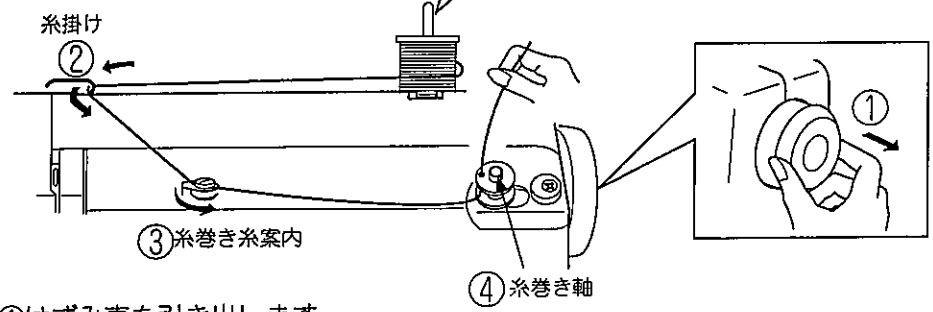
※ボビンは、ジャノメ専用ボビンをご使用ください。



【糸こまのセット】

糸立て棒は、ミシン本体に収納されていますので、向こう側に倒します。次に、フェルトを入れ、糸こまをセットします。(糸の端は図の方向に出します。)

収納するときは、糸こま、フェルトを外して、糸立て棒をもとにもどします。

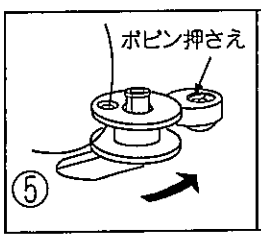


①はずみ車を引き出します。

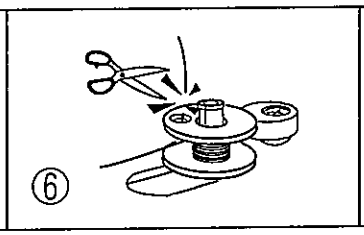
②押さえ上げをあげ、糸こまから引き出した糸を糸掛けにかけます。

③糸巻き糸案内にかけます。

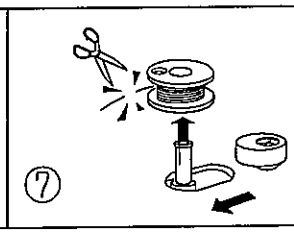
④ボビンの穴に内側から糸を通し、糸巻き軸に差し込みます。



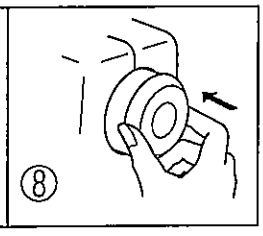
⑤ボビンをボビン押さえの方に押しつけます。



⑥糸の端をつまんだままミシンをスタートしてボビンに糸が三重ほど巻きついたら、ミシンを止めて、つまんでいる糸を切ります。



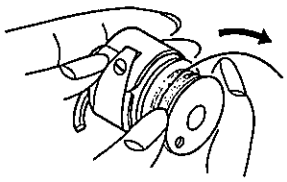
⑦再びスタートして、巻き終わったらミシンを止めます。糸を切って糸巻き軸をもどし、ボビンを糸巻き軸より外します。



⑧はずみ車を元の位置（押し込む）にもどします。

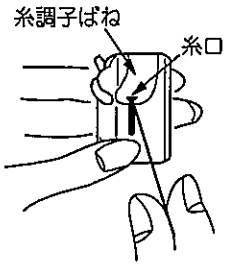
⚠注意 糸巻き軸を操作するときは、必ずミシンを止めてください。

⑬ボビンのセット



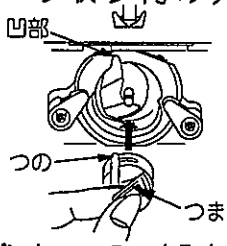
①糸の端を矢印方向（時計まわり）にたらして、ボビンケースに入れます。

②みぞに糸を通します。



③糸を引いて、糸調子ばねの下を通し、糸口に引き出します。糸は１０cmほど出しておきます。

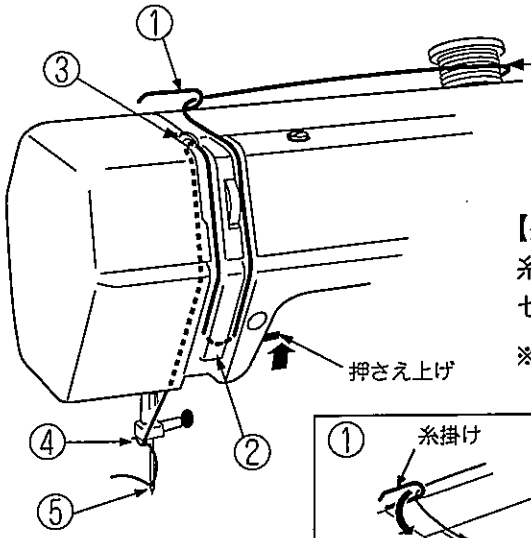
⑭ボビンケースの取り付け方

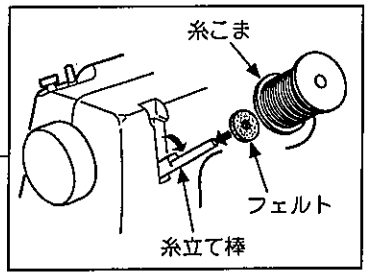


ボビンケースのつまみを持って、つのをかまの凹部に合わせ、奥の方へいっぱいに入れてから、つまみをはなします。

⑮上糸の準備

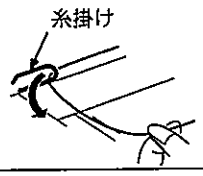
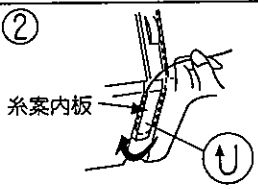
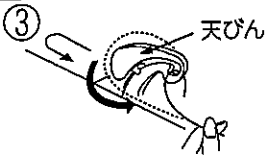
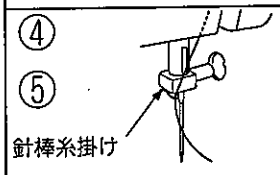
★上糸のかけ方





【糸こまのセット】
糸立て棒を出して、フェルトを入れ、糸こまをセットします。

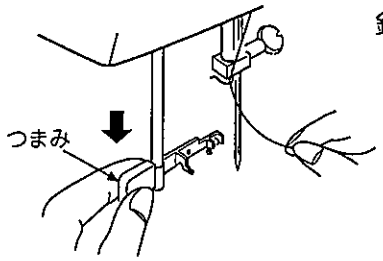
※糸こまを押さえながら正しく糸をかけてください。

① 	押さえ上げをあげ、糸を糸掛けにかけて、右側のみぞにそって下におろします。
② 	糸案内板の下をまわして、左上に引きあげます。
③ 	はずみ車を手前にまわし、天びんを上部にします。天びんには、右からうしろをまわして左へ出し、手前に引き出してまっすぐ下におろします。
④ ⑤ 	針棒糸掛けに左からかけます。 糸通しを使って針に糸を通します。 （糸通しの使い方は、6ページの⑯をごらんください。）

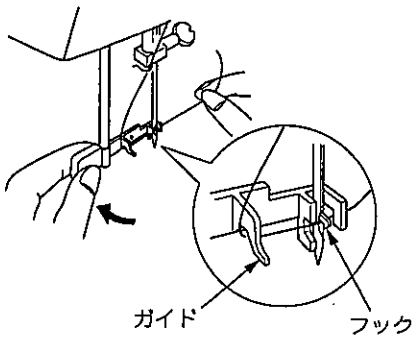
⑯ 糸通しの使い方

【糸通しを使うときの注意】

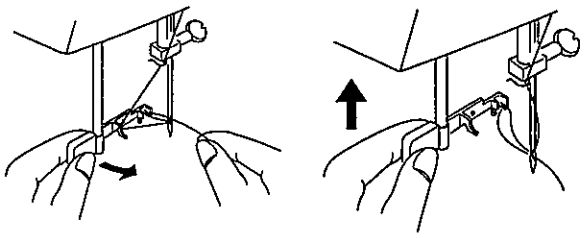
※針は 11 番～ 16 番、ジャノメブルー針、糸は 50 番～ 100 番が使えます。
針、糸の太さによっては使えない場合があります。



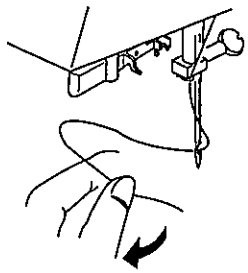
①針を一番上にあげてつまみを止まるまでいっぱいに引きさげます。



②つまみを矢印方向へまわしてフックを針穴に入れます。
糸をガイドとフックにかけます。

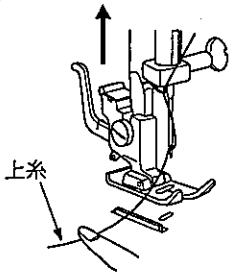


③つまみを矢印方向へまわして、糸が輪になって出てきたらつまみを押しあげ、糸の輪を引きあげます。

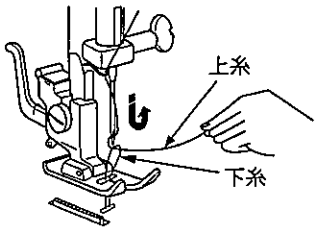


④糸の輪を糸通しから外し、針穴から端を引き出します。

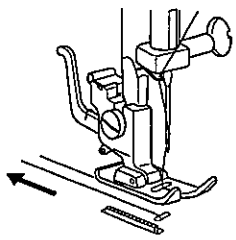
⑰ 下糸の引きあげ方



①押さえ上げをあげ、糸の端を指で押さえておきます。



②はずみ車を手で手前に一回転させ、上糸を軽く引くと、下糸の輪が引き出されます。



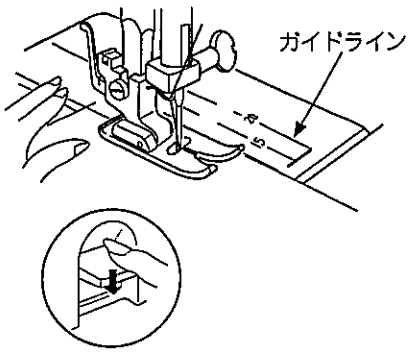
③上糸と下糸を押さえの下にして、後ろへそろえて約 10cm くらい出します。

⑱ 直線ぬい

セットの目安	模様	押さえ	糸調子
		基本押さえ	2～6

※模様は、ぬい目のあらさが異なる３種類があります。

★ぬい始め



糸と布を押さえ、はずみ車を手前にまわし、ぬい始めの位置に針を刺します。
押さえ上げをさげて、ガイドラインに合わせてぬい始めます。

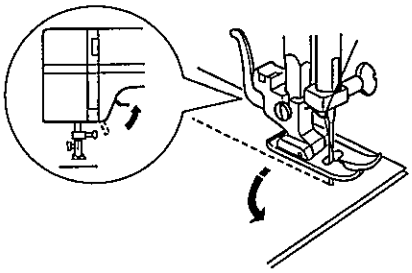
※ぬい始めのほつれ止めは、返しぬいレバーを使います。

【ガイドラインの利用】

数字	10	15	20	3/8	4/8	5/8	6/8
間かく（cm）	1.0	1.5	2.0	1.0	1.3	1.6	1.9

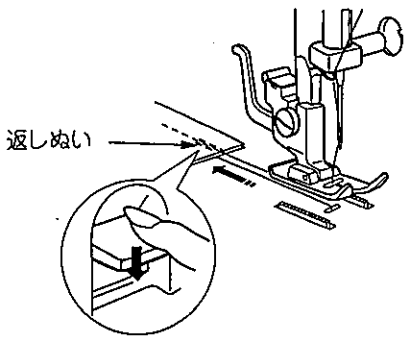
※数字は、針穴中央からの距離です。

★ぬい方向の変更



ミシンを止め、はずみ車を手前にまわして針を布に刺し、押さえ上げをあげます。
針を刺したまま布をまわして方向をかえます。

★ぬい終わり

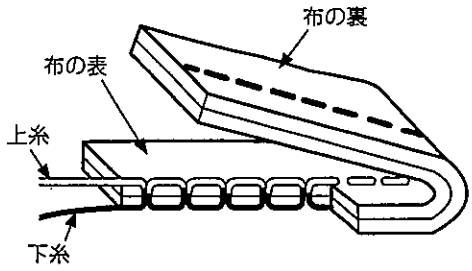


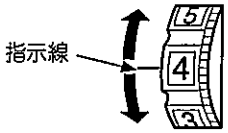
返しぬいレバーを押しながら数針返しぬいをします。ミシンを止め、押さえ上げをあげて布を向こう側に引き出し糸を切ります。

⑲ 糸調子の調節

素材やぬい方によって、糸調子ダイヤルをまわして調節します。糸調子が正しく調節されていないと、ぬい目がきたなくなり布にしわがよったり、糸が切れたりします。

【正しい糸調子】・・・上糸と下糸がほぼ中央でまじわります。

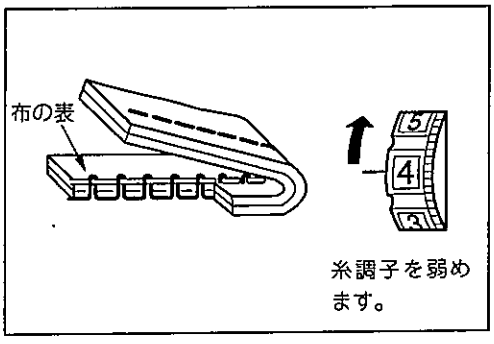




数字を指示線に合わせます。

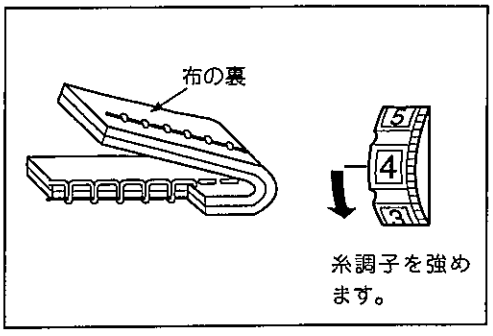
【上糸が強い場合】

・・・下糸が布の表に出ます。

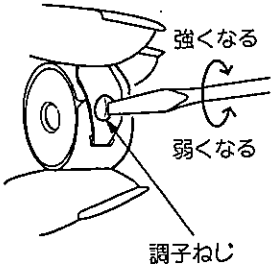


【上糸が弱い場合】

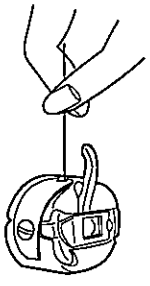
・・・上糸が布の裏に出ます。



⑳ 下糸調子の調節



ボビンケースの調子ねじをまわして調節します。
右にまわすと、下糸調子は強くなり、左にまわすと、糸調子は弱くなります。

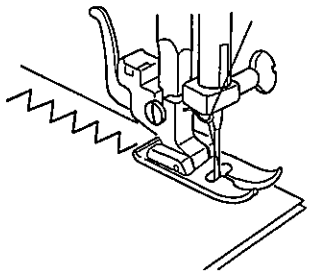


【目安】
糸を持って上下にかるくゆらしたとき、ボビンケースがゆっくりさがるくらいに調節します。
(約50g)

㉑ ジグザグぬい

セットの目安

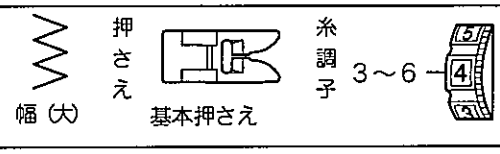
※模様は、ジグザグ幅が異なる（大）（中）（小）３種類があります。

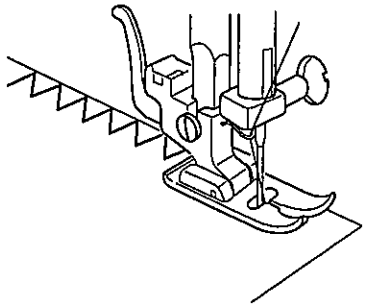


伸縮性のある布（ニット、ジャージー、トリコットなど）には、接着芯を貼るときれいにぬえます。

㉒ ジグザグぬいたち目かがり

セットの目安



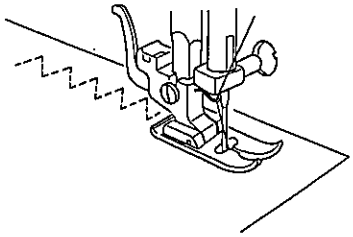


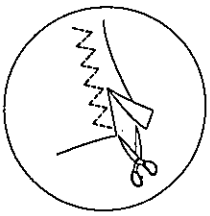
布端のほつれ止めとして、広く利用します。

※ジグザグ模様のときは、幅(大)を使用します。

㉓ トリコットぬいたち目かがり

セットの目安





ほつれやすい布や、伸縮性のある布のほつれ止め布端の反り防止などに利用します。
ぬいしろを少し多めにとってぬい、余分なところをぬい目近くで切り落とします。

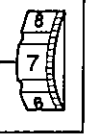
㉔ シェルタック

セットの目安

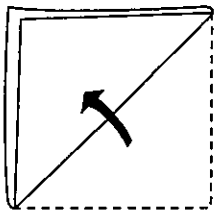
模様

押さえ　基本押さえ

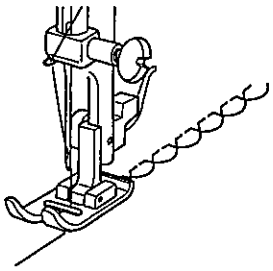
糸調子　6～8



※糸調子は、試しぬいをしてシェルタックの山がきれいになるように調節します。



①布をバイヤスに二つ折りにします。



②針が右にきたとき、布の折り山のきわにおりるようにしてぬいます。

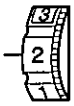
㉕ くけぬい（まつりぬい）

セットの目安

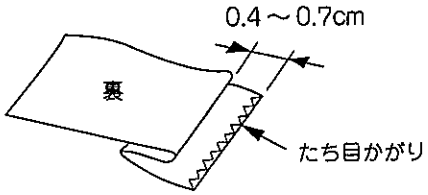
模様　または

押さえ　基本押さえ

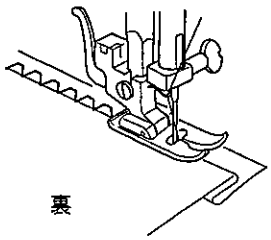
糸調子　1～4



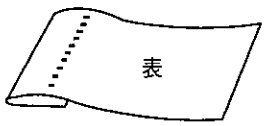
【布の折り方】



【ぬい】



①針がいちばん左にきたとき、わずかに折り山を刺すように布をおき、押さえを下げてスタートします。



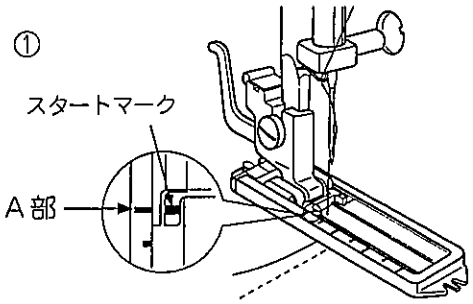
②ぬい終わったら布を広げます。

㉖ ボタンホール

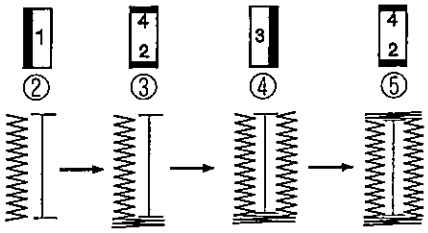
セットの目安

模様	押さえ	糸調子
1 / 4 2 / 3	ボタンホール押さえ	1～5

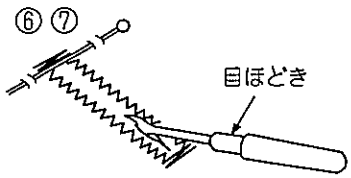
※ぬうものと同じ布で試しぬいをしてください。
※伸縮性のある布には、裏に伸びにくい芯地を貼ってください。



①模様 1 を選びます。上糸を押さえの穴から通して下糸と一緒に横にそろえておきます。押さえを手前に引きスタートマークをA部に合わせます。

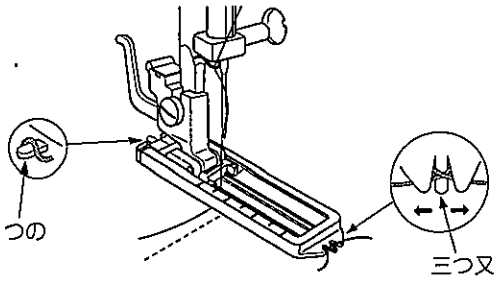


②ぬい始めの位置に針を刺し、押さえ上げをおろしてミシンをスタートし、必要な長さまでぬってミシンを止めます。
③針をあげて模様 4 2 を選びます。かんぬきを5針くらいぬい、ミシンを止めます。
④針をあげて模様 3 を選びます。左側と同じくらいぬって、ミシンを止めます。
⑤針をあげて模様 4 2 を選びます。かんぬきを5針くらいぬいます。

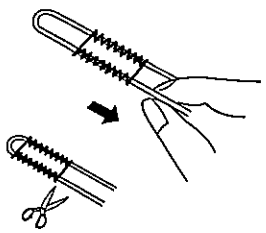


⑥押さえ上げをあげて布を引き出し、上糸と下糸を 10cm くらい残して切ります。
上糸を布の裏に引き出し、上糸と下糸を結びます。
⑦かんぬきの内側にまち針を刺し、目ほどきでかがった糸を切らないように中央部分を切りひらきます。

★芯入りボタンホール



①芯糸の輪を押さえのうしろ側にあるつのにかけ、押さえの下から手前に平行になるように引き出し、前側の三つ又にはさみます。
②ボタンホール手順と同じようにぬいます。

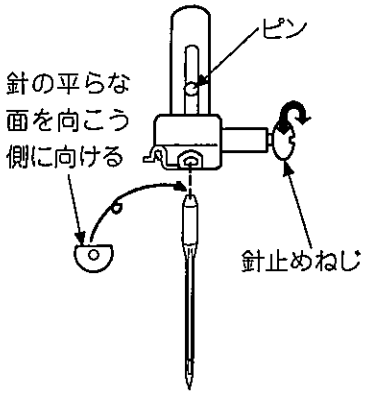


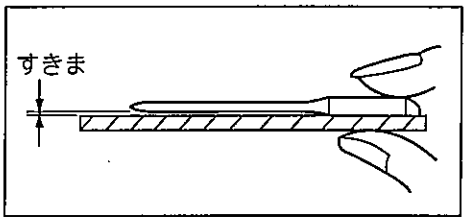
③左側の芯糸を引いてたるみをなくし、余分な芯糸を切ります。

㉗ 針の取り扱い

★針の取りかえ方

⚠注意
針の取りかえは、必ず電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。 けがの原因になります。





①針止めねじを手前に１～２回まわしてゆるめ、針を外します。

②針の平らな面を向こう側に向けて、ピンにあたるまで差し込み、針止めねじをねじまわしでかたくしめます。

【針の調べ方】
針の平らな面を平らな物（針板など）においたとき、すきまが針先まで見えるのが良い針です。針先が曲がったり、つぶれているものは使わないようにしてください。

★布に適した糸や針を選ぶ目安

布		糸	針
うすい布	ローン ジョーゼット トリコット ウール 化繊布	絹　糸８０番～１００番 綿　糸８０番～１００番 化繊糸８０番～１００番	９番～１１番
普通の布	普通木綿 化繊布 薄手ジャージー 一般ウール	絹　糸５０番 綿　糸６０番～８０番 化繊糸５０番～８０番	１１番～１４番
		綿　糸５０番	１４番
厚い布	デニム ジャージー コート地 キルティング	絹　糸５０番 綿　糸４０番～５０番 化繊糸４０番～５０番	１４番～１６番
		絹　糸３０番 綿　糸３０番	１６番

※一般に、うすい布には細い糸と細い針を、厚い布には太い糸と太い針を使用します。この表を目安に針と糸を選び、ぬいたい布のはぎれを使って試しぬいをしてください。
※原則として、上糸と下糸は同じものを使用してください。
※伸縮性のある布地（ジャジー、トリコット）や目とびしやすい布地などには、ジャノメブルー針（別売）を使用すると効果があります。
（市販ＳＰ針も同様の効果があります。）
※針は、１４番のみ付属に入っています。

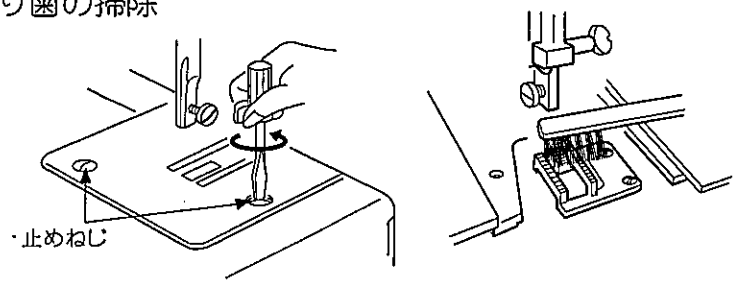
㉘ ミシンのお手入れ

⚠注意

・お手入れのときは必ず、電源スイッチを切り、 コンセントから電源プラグを抜いてください。
・説明されている場所以外は、分解しないでください。

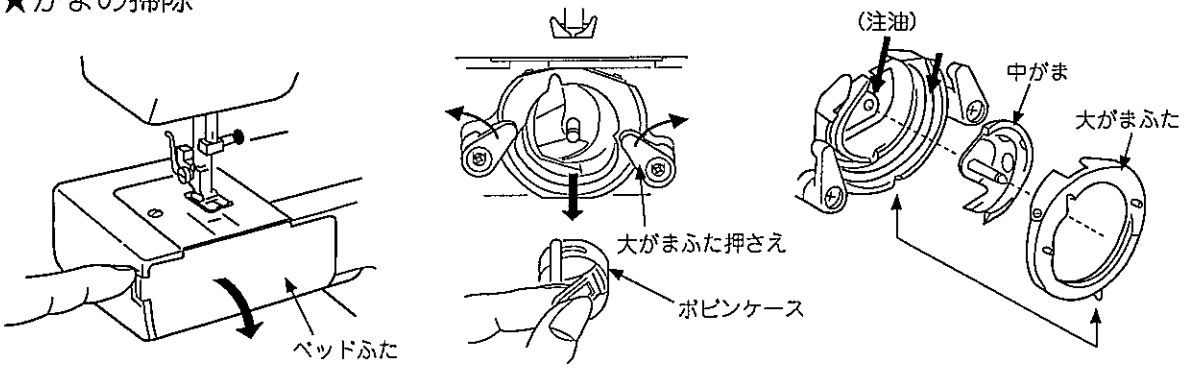
感電・火災・けがの原因になります。

★送り歯の掃除



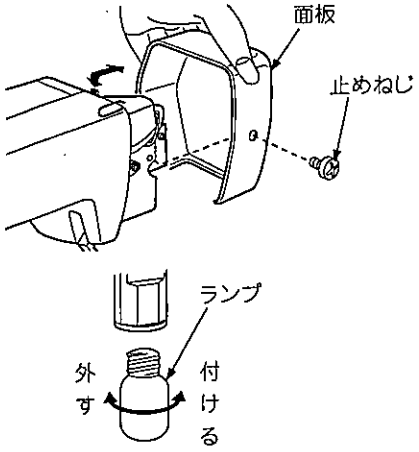
①針と押さえを外し、止めねじを外して針板を外します。
②送り歯のごみを、ブラシなどで手前に落とします。
③針板を付けて、止めねじをしめます。

★かまの掃除



①針をあげて、ベッドふたをあけ、ボビンケースを外します。
②大がまふた押さえを左右にひらき、大がまふたと中がまを外します。
③ブラシでかまの内部を掃除し、矢印のところに1～2滴ミシン油をさして、布で軽く拭きとります。
④中がまを布で拭き、外したときと逆の手順で組み付けます。

㉙ ランプの交換



⚠注意

ランプを交換するときは、電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。また、ランプが冷えてから交換してください。
感電・やけどの原因になります。

【取り外し】

①止めねじを外して、面板を外します。
②ランプを左にまわして、外します。

【取り付け】

①ランプを右にまわして、取り付けます。
②止めねじで面板を取り付けます。

㉚ ミシンの調子が悪いときの直し方

調子が悪い場合	その原因	直し方
上糸が切れる。	1 上糸のかけ方がまちがっていたり、糸が必要以外の場所にからみついている。 2 上糸調子が強すぎる。 3 針が曲がっていたり、針先がつぶれている。 4 針の付け方がまちがっている。 5 ぬい始めに、上糸と下糸を押さえの下にそろえて引いていない。 6 針にくらべて糸が太すぎるか、細すぎる。	上糸を正しくかけ直す。 糸調子ダイヤルを弱める。 針を交換する。 正しく付ける。 上糸と下糸をそろえる。 適切な針や糸を選ぶ。
下糸が切れる。	1 ボビンケースに下糸の通し方が、まちがっている。 2 ボビンケースの糸調子ばねを強くしめすぎている。 3 ボビンケースの中や糸調子ばねの中に、ごみがたまっている。	正しく通し直す。 ねじを少しだけゆるめて、下糸調子を適切にする。 ボビンケースを掃除する。
針が折れる。	1 針の付け方がまちがっているか、針が曲がっている。 2 針止めねじのしめ付けが、ゆるんでいる。 3 針を布にさしたままで、模様選択ダイヤルをまわした。 4 布にくらべて針が細すぎる。	針を交換する。 針止めねじをしっかりしめる。 針をあげてからダイヤルをまわす。 針を交換する。
ぬい目がとぶ。	1 針の付け方がまちがっているか、針が曲がっている。 2 布に対して、針と糸があっていない。 3 伸縮性のある布や目とびのしやすい布地などのとき、ジャノメブルー針（市販ＳＰ針）を使っていない。 4 上糸のかけ方がまちがっている。	針を交換する。 適切な針や糸を選ぶ。 ブルー針を使う。（別売） 上糸を正しくかけ直す。
ぬい目がしわになる。	1 上糸調子があっていない。 2 上糸と下糸のかけ方がまちがっていたり、糸が必要以外の部分にからみついている。 3 布にくらべて針が太すぎる。	糸調子ダイヤルを調節する。 糸を正しくかけ直す。 針を交換する。
ミシンがまわらない。	1 コンセントに、プラグがきちんと差し込まれていないか、つなぎ方がまちがっている。 2 かまに、糸やごみが巻きこまれている。（このとき、ミシンの安全装置がはたらいて、モーターを自動停止する。）	正しく差し込む。 かまの掃除をする。

修理サービスのご案内

- お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は内容をお確かめの上、大切に保存してください。
- 無料修理保証期間内（お買い上げ日より一年間です）およびそれ以降の修理につきましても、お買い上げの販売店が承りますのでお申し付けください。

修理用部品の保有期間

- 当社は動力伝達部品、および縫製機能部品を原則として製造打ち切り後８年間を基準として保有し、必要に応じて販売店に供給できる体制を整えています。

無料修理保証期間経過後の修理サービス

- 取扱説明書に従って、正しいご使用とお手入れがなされていれば、無料修理保証期間を経過した後でも、修理用部品の保有期間内はお買い上げの販売店が有料で修理サービスをします。
  ただし、次のような場合は修理できないときがあります。
  1）保存上の不備または誤使用により不調、故障または損傷したとき。
  2）浸水、冠水、火災等、天災、地変により不調、故障または損傷したとき。
  3）お買い上げ後の移動または輸送によって不調、故障または損傷したとき。
  4）お買い上げ店、又は当社の指定した販売店以外で修理、分解、または改造したために不調、故障または損傷したとき。
  5）職業用等過度なご使用により不調、故障、または損傷したとき。
- 長期間にわたってご使用された場合の精度の劣化は、修理によっても元通りにならないことがあります。
- 有料修理サービスの場合の費用は必要部品代、交通費、およびお買い上げ店が別に定める技術料の合計になります。

本体仕様	
使用電圧	100V　50/60Hz
消費電力	55W（ランプ 12W 含む）
外形寸法	幅 33.0cmX 奥行 14.5cmX 高さ 24.8cm
重量	5.2kg
使用針	家庭用　HA X 1
縫速度	毎分 650 回転

仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがありますのでご了承下さい。

お客様の相談窓口
お問い合わせのある場合には、下記にお申し付けください。

蛇の目ミシン工業株式会社
〒 104-8311 東京都中央区京橋 3-1-1
TEL. 03-3277-2200

639-800-660 ②